

町屋・尾久地域での空き家を活用した下町型エリア再生プロジェクト ～つなぐ場とたまり場を産・学・官・民で創出～

木造建物が密集している町屋・尾久地域において、防災性の向上や新たな都市の再生に資する空き家の活用を具体化するとともに、産学官民が連携した多様な主体によるプラットフォームを立ち上げ、福祉・産業振興・防災分野への相乗効果が生まれるコミュニティビジネスを創出し、持続可能な取り組みを目指す。

概要

区市町村名	荒川区
まちづくり プロデューサー	株式会社スピーク
行政の関わり	プラットフォーム会議の運営や空き家の活用に向けた機運の醸成等を図っている。
連携先	プラットフォーム（空き家利活用に係る地域ネットワークとなる会議体）
対象エリア	町屋・尾久地区

本年度の取組内容

- 空き家利活用をテーマとして設立した会（プラットフォーム）を通じてエリアビジョンの実現に向けた検討や意見交換を行った。
- プラットフォーム会議の地域共有として、区内イベント会場で地域の人々が本活動を知り、参加できる場を設けた。
- 区民向け講座で、空き家活用と地域活動との連携のあり方について可能性を探り、意見交換を行った。
- 空き家を活用して開設した多世代交流施設（まどみ荘）において、空き家活用事例の紹介や空き家活用に関するワークショップを行った。
- 区内イベントで配布されるスタンプブックに事業案内を掲載し、本事業の周知を図った。

本年度の成果

- プラットフォーム会議において、エリアビジョンの実現や今後の活動のあり方を検討する中で、既存の地域活動と連携して行う「地域に開かれたプラットフォーム」を実施することができた。
- 空き家のマッチングでカフェがオープンした。



【空き家のマッチング・活用事例】



【事業案内を掲載】



【プラットフォーム会議の地域共有】



【区民向け・地域活動ステップアップ講座】



【まどみ荘でのワークショップ】